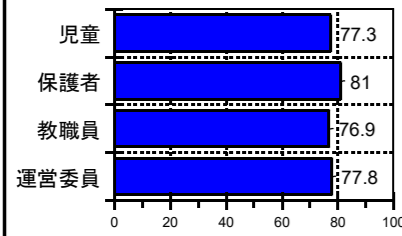


令和5年度 学校評価総括表 課題と改善策

「確かな学力」の育成

分かる授業 総合評価：A (78.6)

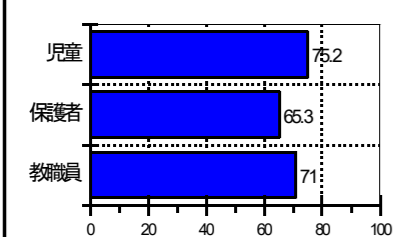


※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 個に応じた指導を行い、児童が分かる喜びや達成感を味わうことができるような取組を全教職員で継続した。
- 学習規律の定着を図り、発問や指示、説明を分かりやすく簡潔にしたり、指示を視覚化したりするなどの工夫をした。
- タブレット端末を活用することで、互いの意見を認め合い、話し合い、学び合う学習活動を充実させ、考えを深めることができるようにした。

☆新たに採択された教科書の内容を検査し、指導の改善・充実に努める。
☆タブレット端末をさらに効果的に活用し、児童の学習意欲を高める。

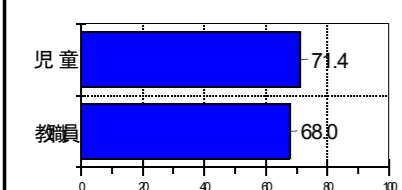
基礎・基本の定着 総合評価：B (71.7)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 朝活の「ぐんぐんタイム」で、漢字や計算のスキル学習、授業でのヒントカードの使用、学期末に漢字や計算の確認テストなどを行った。進んで読書をする児童を増やすために、図書委員会が多読賞や読書ビンゴを行い、各学級で声かけを行った。
- 基礎基本を定着させるために、タブレット端末等を活用し、反復学習や定期的な確認ミニテストなどを行った。
- ☆認知トレーニングを取り入れ、学習への下地づくりを行い、読書活動の推進や自主学習ノートや漢字ノートの活用を学校全体で取り組んでいく。

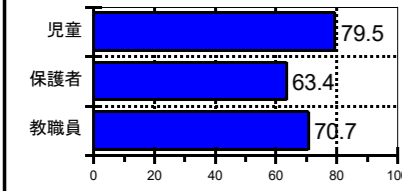
聴く・話す・表現力 総合評価：B (69.7)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- グループ活動やペア活動の中で、「発表」できていることを教師が児童に意識させる（声かけや支援）。また、そのような活動の場を多く設定した。
- ☆ノートや発言（意見をもっている・書いている）を大いに認め、赤を入れたり、シールを貼ったりするなど、児童に自信をもたせ意欲を高める指導の工夫にさらに努める。

学習習慣 総合評価：C (71.2)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

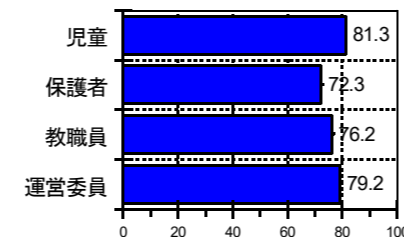
- 「ノーメディアデー」の取組を通して、家庭での学習習慣を意識する児童が着実に増えてきている。
- ☆児童の意欲をさらに高めるためにも、よくできた点やがんばった点を目に見えるように可視化する。空いた時間に、児童が自由に選択して取り組めるようなプリントなどを用意しておく。各学習において、達成目標を設定して取り組ませる。
- ☆自主学習に関する指導の仕方を検討し、学習習慣の充実・育成に努める。

信頼される学校づくりのために

- 学校の教育方針や活動の様子を、より分かりやすく、積極的に発信する。
- 「チーム加茂名」の一員として、全教職員が学校運営に参画できる組織づくりを進める。
- 「とくしま教員育成指標」に基づき、教職員一人一人の力量を高める。
- 地域・保護者・学校がより連携して、児童の学力向上の実現をめざす。
- 情報や要望の収集に努めるとともに、迅速な対応を心掛ける。

「豊かな心」の育成

あいさつ・言葉遣い 総合評価：B (76.5)

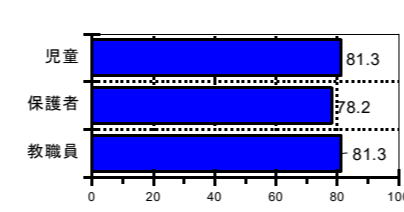


※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- あいさつについては、昨年度より児童の自己評価、保護者から見た数値ともに上がっている。言葉遣いについては、保護者から見た数値は上がっている。
- 朝のボランティア活動であいさつ運動を行うなどの取組もよい影響を与えているのか、大きな声であいさつができて児童が増えてきている。保護者、教職員ともに気持ちのよいあいさつができるようになってきている。

☆代表委員会・集会委員会の児童が中心となって、全校で気持ちのよいあいさつを実体験できる機会を多く設けるなど、児童が自発的に元気にあいさつができる取組を学校全体で実施していきたい。

いじめのない温かな人間関係 総合評価：A (80.1)

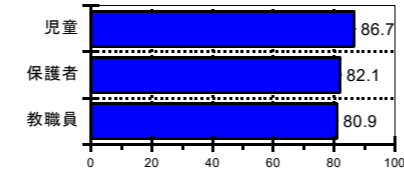


※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 昨年度より再開した「かもなっこ班活動」を、毎月1回実施することができた。他学年の児童と交流を図る機会となり、学年を超えて親睦を深めることができた。
- いじめや不登校をなくすために、教職員で一致協力して指導体制の確立に努めたことで、様々な項目でポイントが上がってきている。

○「困ったときに、先生に質問や相談がしやすい。」が13.8ポイント上回ったが、「困ったときに助けてくれる友達がいる。」のポイントが大幅に下がっている。
☆生徒指導情報交換会等で、児童の実態を職員全体で共有することにより、支援の必要な児童をより多く目で見ることができるようになる。
☆教職員で綿密に情報交換を行い、児童の様子や交友関係の変化を見取り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応ができる体制を強化する。
☆ハッピーレターの活動をHPなどで保護者に発信し、学校での子どもたちの様子を知ってもらうようにする。ハッピーレターや学級での声かけが自己肯定感の向上に役立っているため、引き続き、児童の自己肯定感をより高めていく。

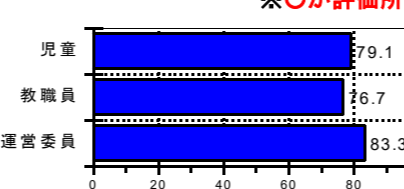
人権教育・特別支援教育 総合評価：A (82.1)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 道徳や人権の学習に関しては、すべての項目でポイントが上がり、よい学習ができていると感じる児童が増加している。
- ☆同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向けて、児童の実態や発達に応じた加茂名小学校の人権教育を推進するため校内研修により一層力を入れる。

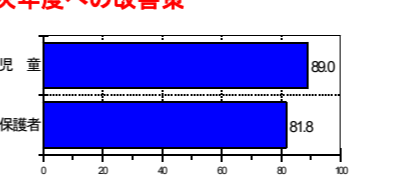
生徒指導 総合評価：A (79.7)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 高学年を中心に、朝のボランティア清掃に積極的に参加したり、学校全体であいさつ運動などに取り組んだりすることができた。
- ☆基本的な生活習慣の指導の在り方に関して、さらに共通理解を図る。
- ☆ソーシャルスキルやコーチングなどの実践スキルを研修などで学ぶ機会を増やし、学級経営に生かす。

家庭生活 総合評価：A (81.9)



- 学年便り・保健便り等で、規則正しい生活習慣を送れるように啓発を重ねた。
- ☆家庭でのルールについて話し合い、記録する機会をつくる。
- ☆保健の学習で、生活時間を振り返り、改善したことを家庭で実践できるように学習活動を設定する。

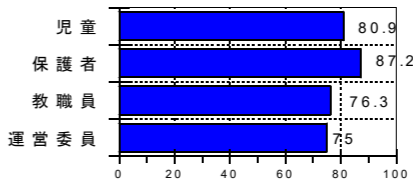
学校教育目標
故郷を愛し、主体的に学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる
—創造と信頼と協働による活力ある学校づくり—

めざす子ども像

- か…感謝の心をもつ子
- も…目標(めあて)をもち、自ら学ぶ子
- ほ…仲よくし、相手の立場になって考える子
- の…伸び伸びと、明るく元気な子
- こ…根気強く、最後までやり抜く子

「健やかな体」の育成

健康・体力 総合評価：A (80.2)



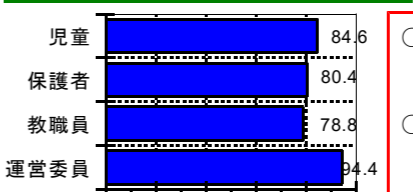
※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 引き続き感染症に配慮しつつも、学校では児童は元気に活動できるようになった。家遊びが多い児童はゲームなどの時間が多く、あまり運動ができていない児童も多い。
- 「夜10時までには寝て、朝7時までには起きている。」の指標値が昨年度を14.7ポイント上回った。今後も、生活習慣改善の取組を進めていきたい。

☆年間を通した体育科学学習指導内容と関連した効果的な体力づくりを進め、様々な競技会に参加する児童を広く募る等して運動習慣の確立に努める。
☆夏季の水泳検定や水泳教室、冬季の持久走や縄跳び検定を設定したり、委員会活動主催の運動関連の集会を開催したりして、児童が運動に親しむ機会を増やし、運動習慣を確立するための契機としていく。

安全・安心な学校づくり

安全・安心 総合評価：A (85.0)



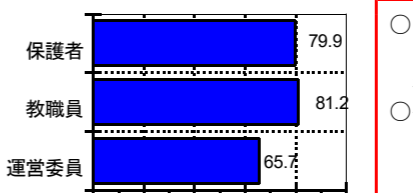
※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 児童の登下校に関する評価は昨年度より下がっているが、保護者・教職員から見た評価は上がっている。
- 津波避難の仕方を見直したり、警察の方を招いて不審者対応訓練を実施したりすることで、学校の危機対応能力を高めることができた。
- ☆下校時に見守り活動を行い、下校方法を実地に指導するなど、安全な登下校の仕方を具体的に身に付けることができるようにする。

☆リアルな実を伴った映画や体験に基づく番組などを視聴して、疑似体験を積み重ねるなど、より効果的な指導方法を検討し、全校体制で実践する。
☆全教職員で緊急事態対応マニュアルを見直し、迅速な対応・状況の把握、的確な判断、報告ができるようにする。

保護者・地域との連携

情報提供・環境づくり 総合評価：B (89.6)



※○が評価所見, ☆が次年度への改善策

- 教職員全体が保護者との連絡を密にとることで、あらゆる連絡や相談に迅速に対応し、保護者からの信頼を得ている。
- 今年度は、地域の公共施設などに校外学習に出かけたり、ゲストティーチャーを招聘したりする機会を多くもつことができ、児童の学習が十分充実できた。
- HP・マチcomiメールを活用して積極的な情報発信をすることができた。

☆学期当初に、HPを見てもらえるように呼びかけ、定期的に、HPに学年の活動の様子を掲載することで、より学校の情報が保護者に伝わり、「安心できる開かれた学校」につながることを考える。
☆欠席連絡を電話だけでなく、メールでも連絡できるようにして利便性を高める。

(A : 73.3以上 B : 73.3未満~66.7以上 C : 66.7未満~50.0以上 D : 50.0未満)
※各項目ごとに、回答者全員の評価のポイントの平均を、「(Aの個数×100+Bの個数×2/3×100+Cの個数×1/3×100)÷(A+B+C+D)」で算出し、項目の指標値とする。
※年度末に学校運営協議会を開催し、参加していただいた委員から学校関係者評価をいただいた。